

ご覧いただき、ありがとうございました。

1月4日(木)

ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」、いかがだったでしょうか？

私は感無量。涙が止まりませんでした。

終わった瞬間にたくさんの数え切れないメールと電話を頂きました。このブログ書きながらでも、頂いています。

そのうちの一つに、

今まで、市長が何でドラマごときにここまでのめりこんでいるのか分からなかったです。正直、ずっと批判的でした。他に大切な仕事もあるだろうと。

しかし、家族で見終わったときに、武雄に住んでいることを本当に感謝をしました。

市長。市長のお気持ちが分かりました。ありがとうございました。

一職員でした。

尊敬する同世代の支社長さんのメールには、

樋渡さんのブログにあるとおり、本当に「最高のドラマ」でした。最後はずっと涙を流しながら見ておりました。このドラマを見た方は、皆温かい気持ちになったはず。家族の絆を感じたはず。です。

そして武雄の素晴らしい景色、自然、言葉、存分に堪能させて頂きました。今年必ず武雄に行こうと決意しました。

こんな素晴らしいドラマを生んだのも、武雄あったのことでと思います。樋渡さんはじめ、ご関係の皆様のご尽力に頭が下がります。

本当にお疲れ様でございました。

そのお気持ち、ご感想をぜひ、フジテレビにお寄せください。僕もこれからメールします。

続編を見たい！と。

江森プロデューサー、フジテレビ・共同テレビの皆さん、舛田さんご夫妻、ボランティアの皆さん、エキストラの皆さん、市役所・議会の皆さん。そして関わってくれたすべての皆さん、一生忘れません。心から感謝します。ありがとうございました。

武雄市長物語

今回は、ブログで公開されている『武雄市長物語』より、12月25日～1月25日までの分を抜粋して紹介します。

食育サミット終了

1月12日(金)

今日は、3役会議（市長+両副市長）、記者懇談会、服部幸應先生と橘小学校での給食体験、食育サミット、服部先生との夕食会、アサヒ会、政務と続く一日。



食育サミットでは、1600名の皆さんが武雄文化会館に集まっていたいただきました。パネル・ディスカッションはあまり好きではないんですが、今日のは気持ちよく話せました。

特に古川康知事の発言

昔、お店で牛乳を買うときは奥のほうから取っていた。新しいから。しかし、今は一番前のを取るようにしている。なぜなら、前のものは売れないと廃棄処分になってしまうので、ごみを減らす観点から、前に並んでいるものを買っている。

というのは、非常にいいなあって思いました。普通の生活で、できることからやる！という姿勢は見習わなくてはいけないと感じましたね。

他の坂井唐津市長、江里口小城市長のご発言もさすがでした。僕からは、橘小学校を始めとする学校給食の頑張り、食品添加物を減らさなくてはいけないこと、弁当の必要性、レモングラス栽培促進などをお話しました。

僕は、この手のシンポジウムは皆さんが帰られるときに、こっそり、反応をうかがうのですが、総じて良かったです。主催者としてほっとしました。